

がん登録を基盤とするリアルワールドのがん医療への影響調査(CanReco)

1. 研究の対象

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等における院内がん登録患者さん(2016年1月1日診断以降)。

2. 研究目的・意義・方法

研究目的:新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を、がん登録を基盤とした調査により示すことが目的です。

研究意義:2020年1月16日、中国湖北省武漢市より帰国した男性に初の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)感染がわが国で確認されました。2020年3月11日には、WHOが世界的大流行(パンデミック)を宣言し、感染者数、死者数とも増加、緊急事態宣言の発令など、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。がん医療においては、検診やかかりつけ医の受診、専門医療機関への紹介、検査、診断、治療において、遅延、中止、代替が生じたと想定され、医療提供体制の逼迫によるがん医療の制約も現実となりました。がんの進行、生存期間やQOLの悪化、がん死亡の増加が懸念されています。今回、大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診療情報データ的一种であるDPCの情報を加えることで、COVID-19がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を示します。COVID-19のみならず、今後発生する新たな感染症に対して、がん医療提供体制のあり方を考えるうえでの科学的根拠になると考えています。

研究方法:がん診療連携拠点病院等の各医療機関で院内がん登録データとDPCデータから対象症例の抽出・匿名化・暗号化したものを大阪国際がんセンターに提出します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料:該当しない

情報:2024年診断症例の院内がん登録ファイル(全国集計に提出したファイル)とDPCファイル(様式1、入院EF統合ファイル、外来EF統合ファイル:2022年10月から2025年5月診療)

4. 外部への試料・情報の提供・公表

大阪府がん診療連携拠点病院等において院内がん登録データとDPCデータから対象症例を抽出・匿名化・暗号化し(専用ソフトウェアを用いる)、追跡サービス付の送付方法で大阪国際がんセンターがん対策センターに送付します。データを復号化するソフトウェアは大阪国際がんセンターがん対策センターのみが保持しており、がん対策センターは、がん登録等の推進に関する法律に基づく大阪府がん登録、大阪国際がんセンター院内がん登録に関する業務と研究を担う組織であり、物理的安全管理、技術的安全管理、組織的安全管理、人的安全管理を実施してい

ます。研究成果は、学会や学術雑誌等で公表されますが、その場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることはありません。

5. 研究組織

<研究責任者・研究代表者>

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
がん対策センター所長 宮代 勲
(大阪府がん診療連携協議会 がん登録・情報提供部会長)
〒541-8567 大阪府中央区大手前 3-1-69
TEL:06-6945-1181

<研究事務局・解析責任者>

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター
がん対策センター
事務局責任者:政策情報部副部長 森島敏隆

<研究協力者(解析協力)>

大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部副部長 梶原麻里
大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部主査 小山史穂子
大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部統計研究職 馬 超辰

<実施医療機関及び責任者> (既存試料・情報の提供のみを行うため研究機関とはみなさない)

大阪府がん診療連携協議会を構成するがん診療連携拠点病院等
(https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/osaka_gan-portal/kyotenlist.html)

6. 問い合わせ先

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

八尾市立病院 窓口: ㊟ 診療支援・相談窓口
受付時間: 月曜日～金曜日(祝日をのぞく) 9:30～16:30
〒581-0069 大阪府八尾市龍華町一丁目3番1号
TEL:072-922-0881(代表)